

神大医総第174号
令和7年11月20日

各 医 科 大 学 長
各大学大学院医学系研究科長
各 大 学 医 学 部 長
各 関 係 機 関 の 長
殿

神戸大学医学域長
神戸大学大学院医学研究科長
村 上 卓 道
(公印省略)

外科学講座肝胆膵外科学分野の教授候補者の公募について（依頼）

謹啓 時下益々御清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本学域では、外科学講座肝胆膵外科学分野教授候補者の公募を行うことになりました。

つきましては、御多用中のところ誠に恐縮に存じますが、貴学並びに関係機関等に適任者がおられましたら、下記により御推薦賜りますようお願い申し上げます。

なお、採用は、令和8年4月1日の予定であることを申し添えます。

謹言

記

1. 職 名 教授

2. 選考方針 「肝胆膵外科学」は、消化器外科における基幹領域を形成し、肝臓、胆道系、膵臓に生じるあらゆる疾患の外科的治療を担当しているが近年の超高齢社会の進展に伴い、難治性がんである肝胆膵がんは増加を続けており、その重要性を増している。一方、我が国の消化器外科医の不足は地域医療においてきわめて深刻な問題として危惧され、2040年には現役の消化器外科医が半減すると予測されている。

こうした状況の中、肝胆膵外科手術では従来の開腹手術に加え、腹腔鏡手術やロボット支援手術といった低侵襲外科治療が急速に発展しており、今後はさらに先端的で低侵襲な治療法の開発が求められている。一方で、肝胆膵領域の難治性疾患の予後向上には、化学・免疫療法、移植医療、再生医療などを推進とともに、医療創成工学専攻などとの連携による新規医療技術の研究・開発とその社会実装が不可欠である。こうした取り組みは、新たな治療戦略の確立を導くと同時に、臨床研究中核病院の機能向上にも資するものである。

また、若手外科医の獲得と育成は診療科の存続に直結する喫緊の課題であり、将来を見据えた明確なビジョンのもとで、継続的な養成と地域医療への貢献が期待されている。

以上の点を鑑み、このたび、肝胆膵領域の疾患に関する優れた研究業績、教育実績ならびに診療能力を持ち、かつ腹腔鏡手術やロボット支援手術などの低侵襲外科的治療に豊富な経験と優れた実績を有するとともに、新規医療技術の開発実績を有し、肝胆膵外科学全般に関する幅広い見識を持ち、若い医師を惹きつける指導力と包容力を併せ持つ優秀な人材を求める。

3. 提出書類

(1) 履歴書（別紙様式）	1部
(2) 業績目録（別紙様式）	1部 (原著論文のうち、主要なもの10編に○印を付してください。)
(3) 主要研究業績の概要（別紙様式）	1部
(4) 手術症例一覧（別紙様式）	1部 (主要手術10例の手術記録を添付してください。)
(5) 教育、研究、診療に対する実績と抱負	1部 (それぞれ2,000字程度)
(6) 論文別刷	1部 (業績目録に○印を付したものとします。)
(7) 推薦書（別紙様式を参考）	1部
(8) 業績等一覧表（別紙様式）	1部

4. 提出期限 令和7年12月19日（金）（必着）

5. 提出方法

応募を希望される場合は、提出期限の前営業日までに「6. 問い合わせ先」記載のメールアドレス宛にご所属・氏名を明記の上その旨お知らせください。
折り返し提出書類アップロード用のURLをお送りいたします。メールの件名は「外科学講座肝胆膵外科学分野教授選考への応募について」としてください。メール送信後2営業日以内に返信がない場合は電話等でお問い合わせください。

書類のアップロードが難しい場合は、下記要領にて郵送にてご提出いただくことも可能です。

〒650-0017 神戸市中央区楠町7-5-1

神戸大学医学域長 村上卓道 宛

*封筒の表に、「外科学講座肝胆膵外科学分野教授候補者応募書類在中」と朱書して、書留で郵送願います。

*上記と併せて(2)～(6)のPDFデータ及び(8)のExcelデータをUSBメモリもしくはCD-Rに保存し同封してください。

*お送りいただいたUSBメモリ等はご返却できませんので、あらかじめご了承ください。

*連絡可能なメールアドレスを記載した用紙を同封してください。

6. 問い合わせ先 神戸大学医学部総務課人事係

TEL 078-382-5025

MAIL soujina [at] med.kobe-u.ac.jp

※[at]を@マークに変換してください

ホームページアドレス（所定の様式等ダウンロード可）

<https://www.med.kobe-u.ac.jp/recruit/faculty.html>

※ 本学では、教授に決定した方の氏名、学歴、職歴及び業績目録について、本学のホームページ上に、採用日から6か月間公開させていただきますことをあらかじめ御了承願います。

※ 本学は男女共同参画社会基本法の趣旨に則り、女性研究者の積極的な応募を歓迎し、業績および資格等に係る評価が同等である場合には、女性を優先的に採用します。